

体への負担を極力減らした 早期復帰可能な人工関節置換術を実施

関節軟骨の磨耗を原因とする変形性股関節症などの関節疾患に対して、人工関節置換術は人工関節を埋め込むことで痛みを取り除いて可動域を回復させる。この手技において、辻整形外科クリニックの辻俊一理事長は、負担の少ないMIS（最小侵襲手術）に早期から着目し、現在ではほとんどの症例に対応して行っている。

筋肉を傷つけないことで 早期の回復を可能に

辻理事長は、2007年1月12月に股関節と膝関節の合計で121例の人工関節置換術を行った。同手術を始めてから現在までの症例数は3000例に近い。現在では、ほとんどの症例において、手術の際にできる

傷の小さい手術を行っているという。これは、一般的にMIS（最小侵襲手術）と呼ばれる手法で、術後の痛みや外見への影響を抑えられるという利点がある。

しかし、「MISの本質は筋肉を傷つけずに手術するということがあります。傷を小さくする限度は、治療効果を最大にする範囲にとどめるべきなので、

実際には極小侵襲手術と呼ぶのが正しいでしょう」と辻理事長は述べ、筋肉を傷つけないと重視した手法を工夫し、

実行している。筋肉を傷つけなければ、手術翌日から全荷重歩行訓練が開始可能。股関節疾患に対しては2002年からMISを行い、その有用性が確認できてから膝関節疾患に対して

より正確に行うために 全手術を直視下で行う

こうした手術は厳密な処置が求められるため、辻理事長は直視下で行うことを見直して

げ方や使用頻度は大きく異なるため、それに適するよう向

きなどを変えて人工関節を埋め込む。

「現在では適切な手術を受ければ、人工関節を20年保たせることも期待できます」と辻理事長。そのためにも、患者に合わせた人工関節や手法を適切に選び、正確な手術を心がけている。

取材／鈴木健太

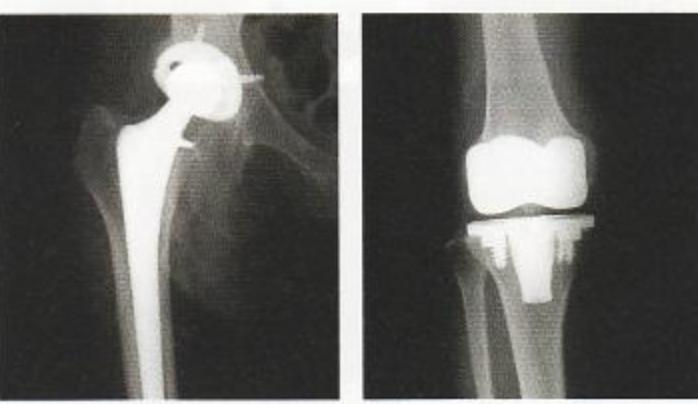
個人個人に適した人工関節置換術を行うために患者との対話を重視し、日常の生活スタイルを十分に確認する

クリニック外観

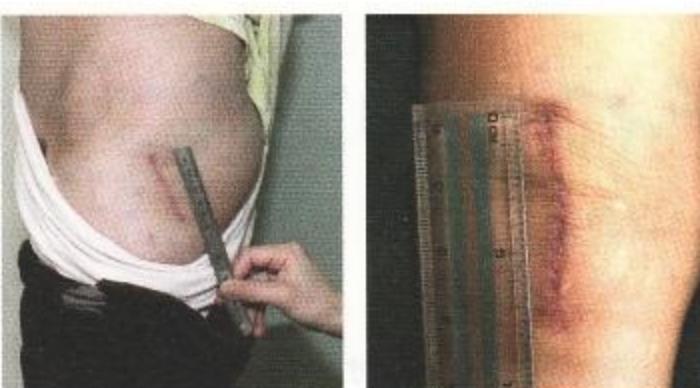


医療法人社団 辻整形外科クリニック

診療科目：整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科
診療時間：平日 8:45～11:50/13:45～17:20
土 8:45～11:50
※初診の受付は平日8:45～11:50
休診日：土(午後、第1・3・5は終日)・日・祝
〒921-8163 石川県金沢市横川5-191
TEL.076-280-0111
<http://www.thosp.com/>



人工股関節（左）と人工膝関節（右）のレントゲン画像。埋め込む人工関節は数多くの機種の中から個々の患者に適したものを見ている



人工関節置換術後の手術創。人工股関節置換術（左）は6～9cm、人工膝関節置換術（右）は8～9cmほどに傷の大きさをとどめている

直視下ならば手術において細かい調整も可能。個人個人の生活パターンによって関節の曲

が求められるため、辻理事長は直視下で行うことを見直して

